

地理的事象の特色を説明する力を高める指導の工夫

— 定型文の活用と交流を通して —

社会科班 桑原 亮一 (中学校教諭)

課題

たくさんの資料を関連付けるけることが苦手
自分の言葉で表現することが苦手

定型文を用いて・・・<手だて1>

資料から読み取ったこと考えたことを関連付けながら整理させ説明する力を高めよう。

交流をして・・・<手だて2>

事象の特色をについて理解を深めさせ説明する力を高めよう。

地理的事象の特色について六つの学習課題を作る 課題: 北アメリカのどこでどんな産業(工業)さかんなのか。<他五つ>

「追究する」過程

「追究する」場面での定型文

「～(事象の特色)は、日本と比べ(世界の中で)～(資料を基にした考察)という特色がある。それは～(資料から読み取れること)だからです。」

〈調べまとめる交流〉

同じ課題の生徒でグループをつくる。

調べたこと考えたことを定型文にまとめる。

調べたこと
事実 (参考にして資料)
① アメリカの主な輸出品目へコンピュータ(2位) 自動車(2位) 航空機(1位)
アメリカの西海岸では航空機やコンピュータを生産する先端技術産業が発達している。特にシリコンバレーはコンピュータなどの研究開発の中心地であり、アジアを始め世界中から研究者が集まっている。特に近年はインドや中国の研究者が増えている。(資料集P118) ② シリコンバレーの研究開発 ③ 世界の航空機産業の状況 ④ 工業製品におけるアメリカの割合 ⑤ 地域別工業生産額の変化
② ホンダの生産ライン
ホンダは民間航空機を初めて開発。宇宙部門にいたる多岐な航空産業を営み多数の部品メーカーが参加する国際企業で製造されている。
考察
・多数の国が参加している。
・原油、石炭などがたくさんあるので機械が安く買える。
・いろいろな国がアメリカに集まっている。
・先端技術産業がさかん。

〈発表する交流〉



定型文を基に自分の課題について調べたことを他の課題を担当した友達に説明する。

「北アメリカの工業は、世界の中で、各国の技術が集まっているという特色がある。それは機械類の輸出が多くしかも航空産業やコンピュータでは様々な国から部品や人材が集まっているからだ。」なぜ、こういう言葉にまとめたかということ、資料〇〇ページの機械類の輸出を表しているグラフを見て下さい。このことから・・・

「まとめる」過程

「まとめる」場面での定型文

「～(地域)は、～(交流を基にした考察)だ。それは～(資料を基にした根拠)だからです。」

〈練り合う交流〉

地域的特色について定型文にまとめ、それをよりたくさんの事象を関連付けてとらえた定型文にする。

A君の定型文を基にした説明

僕は、〇〇さんの発表を基にして「北アメリカは広くて、食べ物も多く、暮らしやすい地域だ。それは、農業をするのに大きな機械を使って広い土地でたくさんの物を作っているからだ。」という文にしました。「食べ物も多く」という言葉は資料集〇〇ページの・・・

グループで練り合った後のA君の定型文

北アメリカは、新しいものや技術が生まれやすい地域だ。それは、インターネットやファーストフードが生まれたことや航空機などのように他国の技術が集まっている産業もあるからだ。

成果

- ・定型文を用いたことで特色を見いだす際の比較の対象や根拠となる資料を提示しながら説明できるようになった。
- ・交流を行ったことで、たくさんの視点から地域的特色をとらえられ、説明する力が高められた。

課題

- ・生徒の実態に応じて調べる視点をより多く取り入れた定型文を用いるなど、定型文の内容の修正・改善が必要である。